

NEW GENERATION CLIMBERS

#007

小島果琳

KARIN KOJIMA

森山憲一＝文・写真

「強くなってキム・ジャインに会いに行きたい」



PERSONAL DATA

出身地 岐阜県岐南町
生年月日 2001年10月11日
クライミング歴 12年

主な戦績

2017年 世界ユース選手権リード10位
アジアユース選手権リード、
ボルダリング2位
日本ユース選手権リード1位

最高グレード
ボルダリング初段、リード5.13b

ホームジム
グッぼる
<http://goodbouldering.com>

岐

岐阜に住む小島果琳さん。この10月に16歳になったばかりの高校1年生だ。この小島さん、4年前にも本誌に登場していた。大阪なんばのクライミングジム「グラビティリサーチ」で開かれたコンペ「グラビティリサーチCUP」の記事を掲載したことがあるのだが、そのミドルクラス（中級）で優勝したのが、当時11歳の小島さんだったのである。年上のクライマーに混じって、ひときわ体の小さな女の子が小猿のように壁を駆け上がっていく。だれが見ても「勝つのはあの子だ」とわかるくらいの飛ぶような登りが印象的だった。

それから4年、ユース大会のリザルトにその名を見ることが増え、今年2017年にシンガポールで開かれたアジアユース選手権では、リード、ボルダリングともに2位。その後の世界ユース選手権でもリードで10位に入った。いまや国内ユース世代を代表するクラ

イマーのひとりとなっている。

その小島さんがホームジムとしている、滋賀県彦根市にある「グッぼる」を訪ねると、小さかった女の子は、4年で笑顔のすてきな女性になっていた。「身長152cmしかないんです。届かないホールドとかあるので、もう少し大きくなりたかったんですが……」

とはいえ、クライミングは、背が高いからといって有利とは限らないスポーツ。世界でトップを争うようなクライマーも平均身長前後の人が多く、小柄な選手も数多く活躍している。ワールドカップで3回総合優勝をしている「リードクライミングの女王」、韓国のキム・ジャイン選手も153cmしかない。

「だからキムさんにとっても憧れているんです。あの身長であれだけ強いんだから、私にもやれるかなって」

小島さんが得意としているのもリード。リードクライミングというのは、



000000

PRX WIND

0

10

6

3

8

W

K

Tb

W

b

W

W

W

W

W

W

W

W

W

Mit

W

sIX

ilic

W

W

W

W

8a

W

Xj